

日本分子生物学会・第42回年会運営に ついてのアンケート 集計結果

ポジション別: 大学・研究所等の常勤研究者

回答者数: 365名

質問1. 42回年會に参加されましたか

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 参加した	336	92.1%							
回答2 参加しなかった	29	7.9%							
合計	365								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問2. あなたのポジションは

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 学部学生	0	0.0%							
回答2 大学院生	0	0.0%							
回答3 ポスドク等非常勤研究者	0	0.0%							
回答4 企業研究者	0	0.0%							
回答5 大学・研究所等の常勤研究者	365	100.0%							
回答6 その他	0	0.0%							
合計	365								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問3. あなたの年齢は

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 19歳以下	0	0.0%							
回答2 20-24歳	0	0.0%							
回答3 25-29歳	3	0.8%							
回答4 30-34歳	12	3.3%							
回答5 35-39歳	46	12.6%							
回答6 40-44歳	70	19.2%							
回答7 45-49歳	75	20.5%							
回答8 50-54歳	82	22.5%							
回答9 55-59歳	53	14.5%							
回答10 60-64歳	18	4.9%							
回答11 65-69歳	4	1.1%							
回答12 70歳以上	2	0.5%							
回答13 回答しない	0	0.0%							
合計	365								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問4. 所属する学会について <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 日本分子生物学会	354	97.0%							
回答2 日本生態学会	0	0.0%							
回答3 日本生化学会	108	29.6%							
回答4 日本発生生物学会	36	9.9%							
回答5 日本細胞生物学会	38	10.4%							
回答6 日本生物物理学会	11	3.0%							
回答7 日本癌学会	63	17.3%							
回答8 日本神経科学学会	27	7.4%							
回答9 日本植物生理学会	5	1.4%							
回答10 日本免疫学会	17	4.7%							
回答11 日本遺伝学会	20	5.5%							
回答12 日本農芸化学会	22	6.0%							
回答13 その他	126	34.5%							
合計	827								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問5. シンポジウムについて <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 テーマは適切である	301	82.5%							
回答2 テーマが偏っている	29	7.9%							
回答3 海外からのシンポジストの数は適切であった	138	37.8%							
回答4 海外からのシンポジストはもっと増やしたほうがよい	89	24.4%							
回答5 特になし	79	21.6%							
回答6 その他	13	3.6%							
合計	649								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問6. ワークショップについて <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 テーマ・セッション数・一般演題からの採用数ともに適切である	234	64.1%						
回答2 テーマ・セッション数・一般演題からの採用数ともによくない	20	5.5%						
回答3 ワークショップの時間(150分)はちょうどよい長さだ	134	36.7%						
回答4 ワークショップの時間はもっと長い方がよい	16	4.4%						
回答5 ワークショップの時間はもっと短くてよい	36	9.9%						
回答6 特になし	36	9.9%						
回答7 その他	38	10.4%						
合計	514							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問7. ポスターディスカッサー制について <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 ディスカッサー制はよかった	118	32.3%						
回答2 ディスカッサー制はよくなかった	76	20.8%						
回答3 ディスカッサー主導のコアタイム設定・担当演題ごとの時間配分により、全担当演題に時間を決めて回ることで活発な議論がなされたと思う	30	8.2%						
回答4 ディスカッサーは全担当演題に時間を決めて回るのではなく、議論があまり盛り上がっていない演題のみを重点的に適宜回るほうがよかったと思う	127	34.8%						
回答5 今後でもできるだけポスターセッションにディスカッサー制を取り入れてほしい	50	13.7%						
回答6 特になし	60	16.4%						
回答7 その他	74	20.3%						
合計	535							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問8. 一般演題全般について <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 プログラム編成・日程振り分けはよかった	191	52.3%							
回答2 プログラム編成・日程振り分けに不満が残った	57	15.6%							
回答3 ポスターセッションの時間(2時間)はちょうどよい長さだ	136	37.3%							
回答4 ポスターセッションの時間はもっと長い方がよい	48	13.2%							
回答5 ポスターセッションの時間はもっと短くてよい	13	3.6%							
回答6 ポスターからワークショップに採択されるシステムはよかった	128	35.1%							
回答7 ポスターからワークショップに採択されるシステムに不満が残った	11	3.0%							
回答8 特になし	36	9.9%							
回答9 その他	44	12.1%							
合計	664								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問9. 年会会期中の各日のタイムテーブルについて(※) <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 全体的にバランスがよかった	147	40.3%							
回答2 2日目を「英語デー」とし、一日通して英語の講演を集めたことはよかった	92	25.2%							
回答3 2日目を「英語デー」とし、一日通して英語の講演を集めたことに不満が残った	37	10.1%							
回答4 英語のシンポジウムを全日程に配置したことはよかった	96	26.3%							
回答5 英語のシンポジウムは特定の時間帯に固めて配置したほうがよかった	22	6.0%							
回答6 一般演題(ポスター発表)が午後一番の時間帯(最終日のみ午前中)であることはよかった	100	27.4%							
回答7 一般演題(ポスター発表)が午後一番の時間帯(最終日のみ午前中)であることに不満が残った	20	5.5%							
回答8 ワークショップの時間帯の配置(午前・夕方)はよかった	85	23.3%							
回答9 ワークショップの時間帯の配置(午前・夕方)に不満が残った	18	4.9%							
回答10 その他	58	15.9%							
合計	675								

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問10. 年会の特別企画について、良かったと思うものにチェックしてください <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 市民公開講座「科学ってなんだ?～心と科学、科学と未来～」	29	7.9%						
回答2 海外若手会員や外国籍学生・若手研究者への年会参加支援(旅費補助)	97	26.6%						
回答3 企業・機関協賛によるチュートリアル企画フォーラム(入門講座・再教育講座) 「高速原子間力顕微鏡(AFM)入門講座:生体分子ダイナミクスリアルタイムで可視化する」「知っておきたい研究ツールとしての抗体の話～抗体使用の基礎から最先端まで～」「生命科学のデータベース活用法2019」「これからはじめるメタボロミクス～メタボロミクス解析を有効活用するためには」「PCR実験をきっちり理解するための基礎講座」	56	15.3%						
回答4 高校生発表	53	14.5%						
回答5 ランチタイムキャリアセミナー	64	17.5%						
回答6 特別企画全般について評価していない	18	4.9%						
回答7 特になし	170	46.6%						
回答8 その他	15	4.1%						
合計	502							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問11. 企業展示会・バイオテクノロジーセミナーについて <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 よかった	172	47.1%						
回答2 よくなかった	7	1.9%						
回答3 参加していない	102	27.9%						
回答4 特になし	85	23.3%						
回答5 要望・その他	16	4.4%						
合計	382							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問12. ITシステム(WEBシステム・アプリ)についてお聞きします <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 基本機能である「プログラム検索・要旨閲覧」は使いやすかった	221	60.5%						
回答2 基本機能である「プログラム検索・要旨閲覧」が使いにくかった	21	5.8%						
回答3 WEBシステムとアプリで「マイスケジュール」が同期できて便利だった	107	29.3%						
回答4 「マイスケジュール」が使いにくかった	17	4.7%						
回答5 「会場ナビ機能」が役に立った	30	8.2%						
回答6 「会場ナビ機能」は役に立たなかった	20	5.5%						
回答7 アプリについてはオフライン利用のみで十分であると思う	11	3.0%						
回答8 「SNS機能(参加者⇄発表者)」が役に立った	12	3.3%						
回答9 特になし	93	25.5%						
回答10 その他	39	10.7%						
合計	571							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問13. ITシステム(WEBシステムまたはアプリ)・年会プログラム集(冊子版)・ポケット判プログラム(会場受付等に置いていたミニサイズの折り畳んだ紙製のもの)の使用状況について <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 年会前・会期中とも主にITシステムを使用し、冊子版はほとんど使用しなかったため不要と感じた	132	36.2%						
回答2 会期中は主にITシステムを使用したが、事前にプログラムを調べるには冊子版が便利であると感じた	114	31.2%						
回答3 会期中は主に冊子版を使用したが、事前にプログラムを調べるにはITシステムが便利であると感じた	49	13.4%						
回答4 年会前・会期中とも主に冊子版を使用し、ITシステムは要旨をPDFでダウンロードする以外ほとんど使用しなかった	49	13.4%						
回答5 会期中はポケット判プログラムが役に立ったので、今後も会場に置いてほしい	62	17.0%						
回答6 その他	43	11.8%						
合計	449							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問14. 本年会の開催形式(単独開催・他学会協賛形式による連携※)について <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 よかった	160	43.8%						
回答2 よくなかった	6	1.6%						
回答3 どちらでもない	194	53.2%						
回答4 その他	15	4.1%						
合計	375							

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問15. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 分子生物学会の単独開催がよい	34	9.3%							
回答2 年会は分子生物学会の単独開催がよいが、今回の生態学会と のような、他学会協賛形式による連携の試みは支持する	207	56.7%							
回答3 協賛形式の連携が可能な学会にはどのような学会が ありますか	19	5.2%							
回答4 ConBio2017(生命科学系合同年次大会/2017年会) 形式の開催がよい	132	36.2%							
回答5 分子生物学会と生化学会の合同開催がよい	127	34.8%							
回答6 合同開催が可能な学会にはどのような学会がありま すか	11	3.0%							
回答7 特になし	32	8.8%							
回答8 その他	19	5.2%							
合計	581								

※割合は回答者数を母数にして算出しています